

と し ょ か ん 宇 治

No. 34

1995年2月15日発行
宇治市中央図書館
〒611 宇治市折居台1-1
0774 (20) 1511

宇治市東宇治図書館
〒611 宇治市五ヶ庄三番割36-5
0774 (32) 2232



感慨つれづれ

宇治市中央図書館長

小山雄一

鳳凰よ 今宵の光明に いのちうけ

世界のひとを 此地にまねけ

ライトアップに浮かび上がる平等院の荘厳な姿を目の前にして、このような歴史的な年に宇治市に赴任したことの感慨にふけりました。世界遺産登録推薦を記念して、東宇治図書館では「宇治上神社と平等院の歴史散歩」を企画しましたし、中央図書館では、世界遺産登録決定日の十二月十五日から本年一月十四日まで、内外の世界遺産や文化財に関係する図書二七点を展示紹介したところで、

昨年はまた、中央図書館の開設十周年記念行事「十年のあゆみ展」「友好都市展」を開催しました。国際化時代における図書館にふさわしい記念事業だったと感じています。

ところで、世界遺産委員会を設置しているユネスコは図書館にとっても関係の深い機関です。

実はこのユネスコの「公共図書館宣言」に思いあたり、久々に目を通しましたが、新たな感慨を覚えました。

「公共図書館は、人間の思想の記録と創造的な想像力の所産を無料ですべての人の利用に供するための手段である。」

紙面がなくて残念ですが、前文と二十五項目からなる珠玉の文言の中から一文を紹介させていただきます。

おとなもこどもも 民話の世界へ



中央図書館では、毎年、読書週間を記念して講演会を開催していますが、今年度は、さる十月十六日に、大川悦生氏をお迎えしました。

この講演会は、生涯学習センターとの共催で、昨年一月にオープンした新しいホールで行われ、約百二十名の参加がありました。

大川氏は、「おかあさんの木」で知られた児童文学者ですが、「三ねんねたろう」を始め、たくさんのお話を再話、研究しておられます。

今回のテーマも「民話へのいざない」で、日曜日だったこともあり、子供達も多数参加してくれました。先生は、専門的なお話は控えられ、「子供達も楽しみながら」と、模造紙を用意され、子供達の飛び入り参加で「あとづけぼっこ」や「やまなし」が語られました。先生は東京の方ですが、どこか、田舎のおじいさんから聞いているような、ほのぼのとした語りです。四才のM君が肩車してもらった、聞き手も全員「ハァー」と相

づちを打ったり、先生の「語り」により、民話の世界に誘われた、とても楽しい二時間でした。

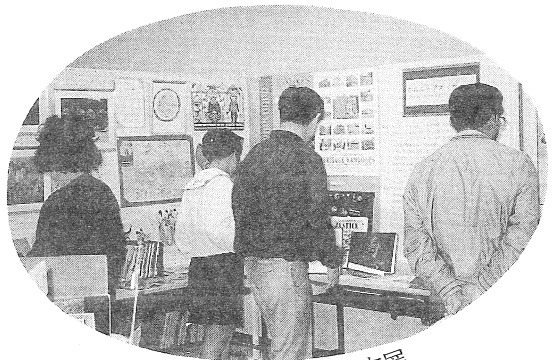
(参加した子供達には、後日、先生より、素敵なプレゼントが届けられ、「おはなしかい」常連のM君は、おかあさんに、次々と、「大川悦生のむかしむかし絵本」を読んでもらったそうです。)



子供も参加しての大川悦生先生のむかしぼなし

中央図書館は十周年を… 東宇治図書館は二周年に

昨年、中央図書館は、文化センターとともに昭和五十九年秋に開館して十年目の節目の年でした。文化センター及び併設各施設とも開設十周年記念の行事を行いました。中央図書館では、閲覧室での「十年のあゆみ展」とあわせて「友好都市展」を十一月四日から十日まで集

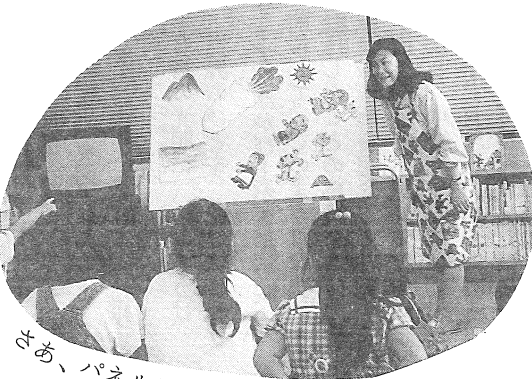


好評だった友好都市展

室で開催しました。

「スアラ・エリア(スリランカ)、カムループス(カナダ)、咸陽(中国)の国や人々を一層身近に感じた。」と大変好評でした。

九月十七・十八日、東宇治コミセンで第二回ふれあいフェスティバルが開催され、東宇治図書館は「京の秋みつけた」と題して、京都に関する本を展示し貸し出しを、又児童コーナーで、「おおきなだいこん」のパネルシアターや紙芝居をしました。楽しんでいただけなかな?三周年に向かって、子供たちや地域の方に親しまれる図書館をめざします。



みよ、パネルシアターのはじまりだよ。

図書館へようこそ

利用者にインタビュー

第21回

山 腰 玲 子 さん



今回は、子供さん(三才の智子ちゃん)といつも自転車で、移動図書館「そよかぜ号」駐車場数ヶ所と中央図書館をあわせてご利用いただいている山腰玲子さん(小倉町在住)にお話を伺いました。

☆お住まいから遠くの「そよかぜ号」駐車場にもよく来て下さいますが、何かきっかけでも……
二年前に宇治市に引っ越してきて道が全然判らなかつたので、覚えたいと思い市政だよりの巡回日

程と地図を持って、駐車場を尋ねて回りました。おかげで地理がよく判りました。今も一ヶ月に二回ほどはどこかへ行っています。
☆お借りになる本は、どの様に選んでおられますか。

子供と一緒に選びます。私は実用書、子供は絵本等各々探して行くので、まとめた冊数がオーバーして調整に困ることもあります。
☆図書館に対するご感想や要望などありましたら……

親切な対応で、特に子供のことを優しく見ていただけて嬉しです。ただ、館内で子供に読みませでもと思っても、他の人の迷惑になりそうでつい遠慮してしまいます。安心して子供に語りかけられる部屋があればいいと思います。また、小さな子供でも参加できるおはなしかいで、みんなと一緒に話を聞く機会がもてればいいですね。あと、コンピュータ目録が便利でよく利用していますが、時々うまく探してられないことがあります。

☆山腰さんは、幼い頃からずっと本が好きで沢山愛読書をもっておられ、お子さまにも毎日絵本の読みかせを欠かされません。これからも図書館を大いに活用ください。ありがとうございました。

宇治上神社と 平等院の歴史散歩

読書週間と世界遺産登録推薦を記念して、十一月二十九日には講演会を十二月六日には現地見学会を、東宇治図書館主催で開催しました。講座のタイトル「宇治上神社と平等院の歴史散歩」とあるように、身近な歴史的テーマのためか、予想以上に関心が高く両日で延四百名弱の方が、熱心に耳を傾けておられました。またスライドやパンフレットを使つての説明は、



歴史建築という専門的な領域にもかわらず、具体的でわかりやすく、参加された皆様には大変好評でした。
さて宇治上神社は、平等院の鎮守社としてあがめられてきましたが、本殿は流造の覆屋で覆った特殊な形式で、拜殿とともに日本最古の神社建築です。また平等院は藤原頼通が別荘を寺院にしたものですが、今では阿弥陀堂(鳳凰堂)だけが創建当時を偲ぶ唯一のよすがとして、悠久の歴史の流れを感じさせます。

郷土のはなし

笠取七つの森

笠取は四方を山で囲まれた山間の集落です。ここで生活する人々にとって、山はきつてもきれいな深い関わりがあります。そのため山を聖地とする場所が数ヶ所あり、地元の人からは、山の神とし崇拝されています。このうち、東笠取の水釜にある「垂乳(たるち)の森」、別所出にある「柎(ひいらぎ)の森」「青の森」、稲出にある「仮屋の森」、西笠取の森にある「お旅の森」、黒出にある「うなぎの森」、笠取小学校の近くにある「こがねの森」の七ヶ所は特に笠取七つの森と呼ばれています。

さて、この七つの森はそれぞれ山仕事の安全への信仰があります。毎年正月に森の祭りが行われています。「お旅の森」では一月三日に、小判形の鏡餅と若竹で作った徳利に神酒を入れてお供えをします。帰りには、餅を一個と、森にある枯れ枝を持ち帰り、そして十五日の朝に、この枯れ枝で小豆粥を炊きます。持ち帰った

餅は男子のみ食べる習わしです。おそらく他の森も同じような行事が行われていたことでしょう。

ところで、この七つの森の内、「垂乳の森」と「お旅の森」は山の神以外の信仰もあります。「垂乳の森」では、老杉からでる水を乳の乏しい婦人が飲むと効験があると伝えられ、現在でも、木の根本にはお供物がおいてあります。

また、「お旅の森」には、木々にまじり表面に無数の穴のある岩がありますが、日照り続きの時、この岩穴に牛糞をつめると、雨が降るといわれています。いずれも他に例をみないおもしろい伝承ですね。

一度、喧騒した都会を離れ、静かなたたずまいの笠取に行かれ、山の神として崇められている七つの森を訪ねられては如何でしょう。



お旅の森

編集後記

今回は、昨年の秋からの催しものを主に載せましたが、いかがでしたか? 「としょかん宇治」の担当になってやっと二号目を発行します。不慣れなので「ああでもない、こうでもない」と気ばかりあせってしまいました。次の号は、

もっと楽しい館報にしたいと思っていますので、御意見等お寄せ下さい。

風邪がはやっています。健康に充分気をつけて下さいね。

そして元気な足どりで図書館へお越し下さい。



本をかりるには

一 利用案内

- 市内にお住まいの方、市内に通勤通学されている方ならどなたでも1人5冊、かりられます。
- 貸出券は、中央図書館・東宇治図書館・移動図書館の共通券です。

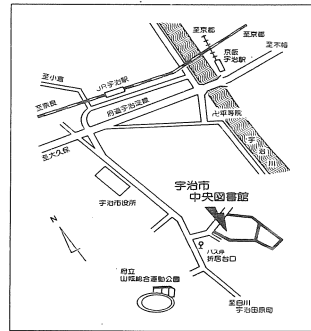
中央図書館・東宇治図書館

- 貸出期間は、3週間です。
- 開館時間は、9時～17時です。
- 休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

移動図書館〔そよかぜ号〕

- 月に市内25カ所を巡回しています。
- 日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。
- 次回巡回日に返却して下さい。

中央図書館



東宇治図書館

